

# 街コオト スクラップ

みんなのイマをパシャ!!

イベント

## 熱演！高校生ミュージカル



2月8日、市文化会館で高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」ある王の物語」が上演されました。  
2008年から毎年上演し、今年で8年目を迎えるこのミュージカルは、キャストが主に大隅半島の高校生という、全国でも大変珍しい取組。  
高校生による生き生きとした若さあふれる演技と高い芸術性に、会場に訪れた観客は、最後まで惜しみない拍手を送っていました。

動画はココ!!



## グルメグランプリで第2位



2月7・8日に、霧島市で「第5回Show-1グルメグランプリ」が開催されました。  
これは「地元商店街を元気にしたい」という熱い思いを持った県内の11商店街組合等が集い、商店街グルメNo1を決定するもの。鹿屋市漁業協同組合青年部を中心に出品した「カン・パエリア」は、約1,600食を販売し健闘を見せるも、わずかに及ばず第2位でした。

## 大阪で鹿屋のよかもんをPR



2月7日・8日の2日間、大阪府豊中市のせんちゅうパル南広場で、「大隅半島・かのやよかとこフェア」を開催しました。  
これは、本市の魅力ある食や観光などを積極的に情報発信し、交流人口の増加を図ろうと行われたもので、市内からは16店舗が出店。かのや紅はるかや落花生等の詰め放題企画に行列ができるなど、会場は終日にぎわっていました。

## 行政

## 輝北町の2土地改良区が合併に合意



2月9日、輝北町土地改良区と輝北町諏訪原土地改良区の合併予備契約書調印式が行われました。  
これは、農家負担の軽減や経営の効率化を目的に、両土地改良区が合併に合意し予備契約書に調印したものです。今後は、認可のための手続きを経て平成27年度中に、面積約242ha、組合員数738人の新しい「輝北町土地改良区」が誕生することになります。

## ジェーエフフーズが工場を増設



2月13日、ジャパンファームの子会社である鶏肉加工製造のジェーエフフーズと鹿屋市は工場増設の立地協定を締結しました。  
新工場は川西町の本社工場の隣に約4千4百㎡の平屋建ての新工場を建てるもので、投資予定額は約19億7千万円。新規雇用も50人を予定しています。今年6月に着工し、平成28年2月の操業開始を目指しています。

## 新しいカタチの地域づくりを



2月18日、輝北コミュニティセンターで地域講演会が開催されました。  
この講演会は「小さな拠点」づくりモニター調査に採択された輝北地域の「ひらばうほたる飛ばせ隊」が、地域づくりに実績のある山口覚氏を招いて実施したものです。  
県外からも来場者が訪れるなど、参加者は新しいカタチの地域づくりの講演に熱心に聞き入っていました。

## 衛生処理場に貯留槽を増設



2月12日、鹿屋市衛生処理場増設に伴う稼働式が開催されました。これは、3月末の肝付東部衛生処理場の廃止に伴い、貯留槽130t及び各種ポンプを整備したものです。  
これにより、1日当たりの処理能力が約1000kl向上し、来年度は年間約7万7千klの処理を行うこととなります。また、し尿処理の効率化により約7千7百万円のコスト削減が見込まれます。

## 講演

## 6次産業化で販路拡大を



2月5日、市内のホテルで「農工商連携・6次産業化講演会&異業種交流会」が開催されました。  
これは、新商品開発や販路開拓を進めて地域経済の活性化を図るために開催されたもので、大隅各地から生産者や商工業者等約150人が参加。(株)ウィンキューブインターナショナル代表取締役の田所宜己氏の講演や異業種交流会等が行われました。

## ハンセン病問題のこれからを考える



2月20日、リナシティかのやで「ハンセン病問題を語り継ぐもの」講演会が行われました。この講演会は、マレーシア、中国、日本のハンセン病の元患者や元患者の子ども、支援者などの話を通して、ハンセン病問題のこれからについて考えることを目的に開催されたものです。  
参加者は体験談に基づく講師の生の声に、真剣な表情で耳を傾けていました。

## 贈呈

## 防犯パトロール用品を贈呈



2月23日、鹿児島県金融機関防犯協議会から大始良校区連合防犯パトロール隊に、防犯ベストなどの防犯パトロール用品の贈呈が行われました。今後、同隊は寄贈品を活用し、登下校時の子ども見守り活動等に積極的に取り組みます。

## 式典

## ひとり金婚式を開催



2月10日、市内のホテルで鹿屋市母子寡婦福祉会ひとり金婚式が開催されました。  
この式は、夫に先立たれ結婚50周年の金婚式を祝うことができなかった女性を対象に行われるもので、今年は3人の女性をお祝いしました。

## 寄贈

## 福祉の増進に役立てて!



2月3日、花岡町在住の濱田覚三氏から日ごろの感謝の気持ちを表したいと、米寿を機に市に30万円の寄附が行われました。寄附金は、本人の申し出により、福祉の増進に関する事業に活用していきます。